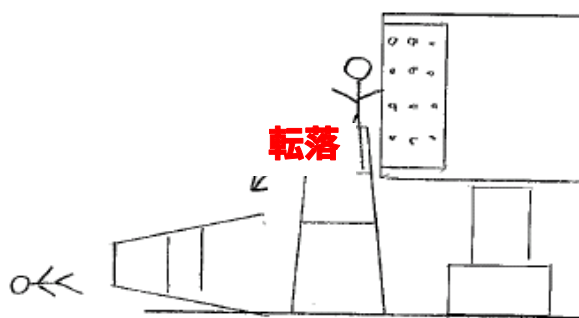


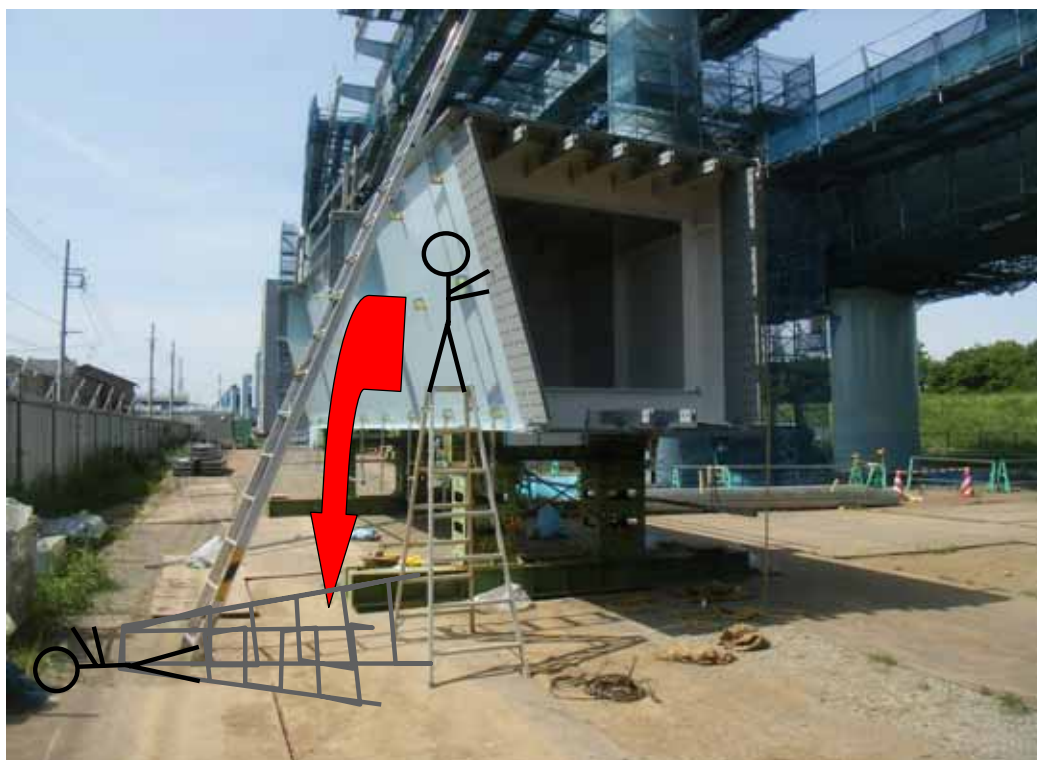
発生日時	平成 21 年 5 月 15 日 (金)				9 時 5 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 鋼橋上部工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	男	67	作業員	肋骨骨折			
事故概要	主桁架設準備のため、脚立を用いて主桁ウェブの添接板の仮締めボルトを緩めていた際、作業員がバランスを崩し、脚立から転落、負傷したもの。						

事故発生状況



・脚立に上り、添接板の仮締めボルトを緩めていた。

・作業中にバランスを崩し、脚立 (1.8m) から転落し、作業員が負傷した。

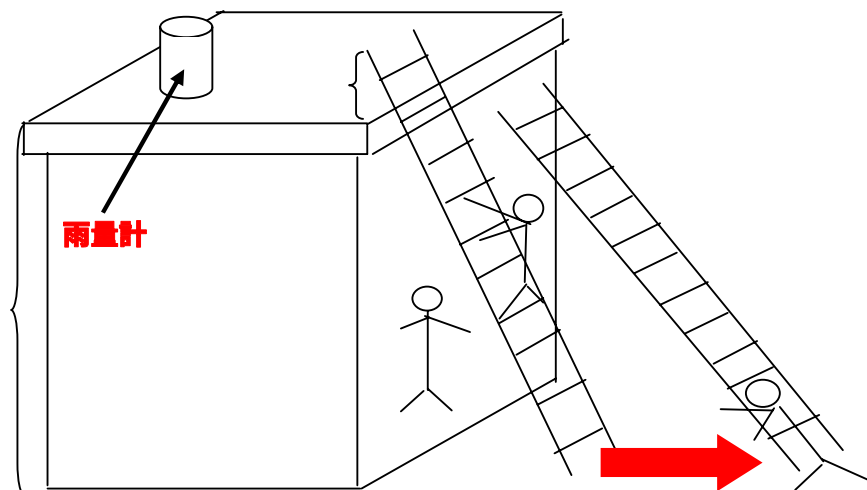


【速報段階での事故発生原因(推察)】

・高所作業における安全対策不十分。

発生日時	平成 21 年 5 月 18 日 (月) 13 時 30 分				天候	晴
工事情報	河川系事務所 業務					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	男	63	作業員	左足手首複雑骨折		
事故概要	雨量計の点検のため、雨量観測所の屋上に脚立 (はしごとして使用) を用いて使用したところ、脚立が滑り、転倒し、作業員が負傷したもの。					

事故発生状況



・雨量観測所屋上の雨量計を点検しようとした。

・脚立を登っていたところ、足元が滑り、脚立とともに作業員が落下したもの。
(地面が湿っており、滑りやすい状態だった)

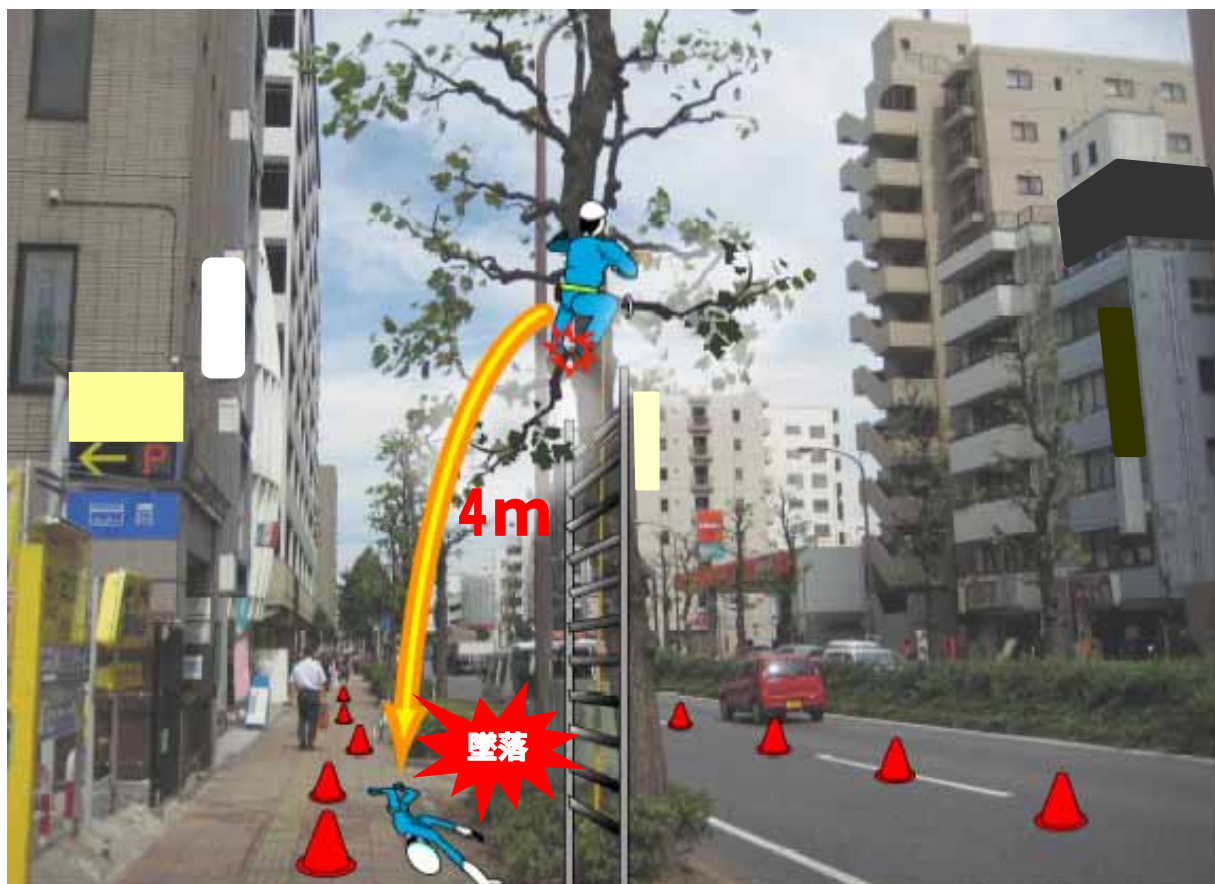


速報段階での事故発生原因(推察)

・脚立 (はしご) を使用する際の滑り止め対策不十分

発生日時	平成 21 年 9 月 11 日 (金) 13 時 10 分				天候	晴
工事情報	道路系事務所 造園工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	男	34	造園工	前頭部頭蓋骨骨折		
事故概要	剪定作業者が安全帯のフックを枝に掛けて登ったところ、足を掛けていた枝が折れ、作業員が転落したもの。					

事故発生状況



・樹木の剪定作業のため、梯子をのぼり、安全帯を設置した。

・足を掛けていた枝に負荷が掛かり折れた後、安全帯を掛けていた枝も折れてしまい、**約4mの高さから作業員が転落した。**

【事故発生原因】

・高所作業における墜落防止対策が不十分だったこと。

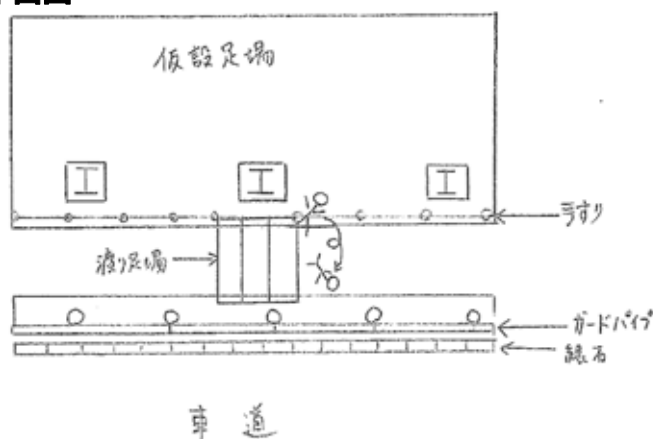
【事故防止のポイント】

・高所作業を行う際の安全設備の再確認。
(適切な安全帯の設置、作業床の設置 など)

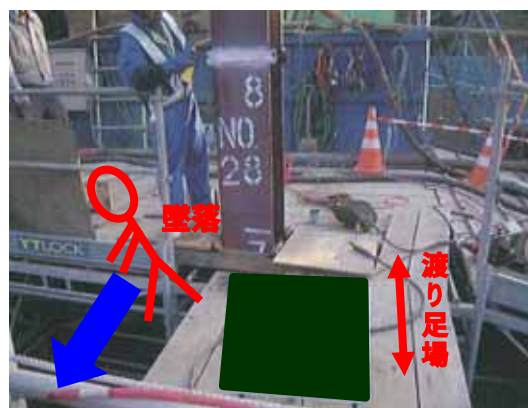
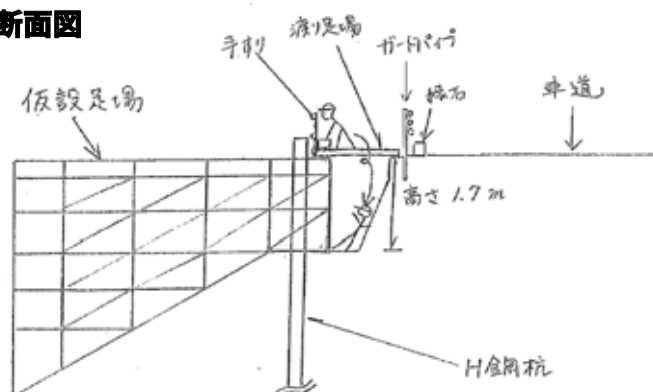
発生日時	平成 21 年 11 月 6 日 (金)				17 時 30 分	天候	晴
工事情報	道路系事務所 一般土木工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	男	34	作業員	肩脱臼			
事故概要	仮設足場と車道を結ぶ通路として設置していた、渡り足場 (地上1.7m) から作業員が墜落したものの。						

事故発生状況

平面図



断面図



- ・事故当日、H鋼杭の継手溶接作業を行っていたが、17:15に作業は終了し、17:20より片付け作業を行っていた。
- ・その際、辺りが薄暗かったこともあり、仮設足場から車道側に設置していた渡り足場から作業員が足を踏み外し、高さ1.7m下に墜落した。

【事故発生原因】

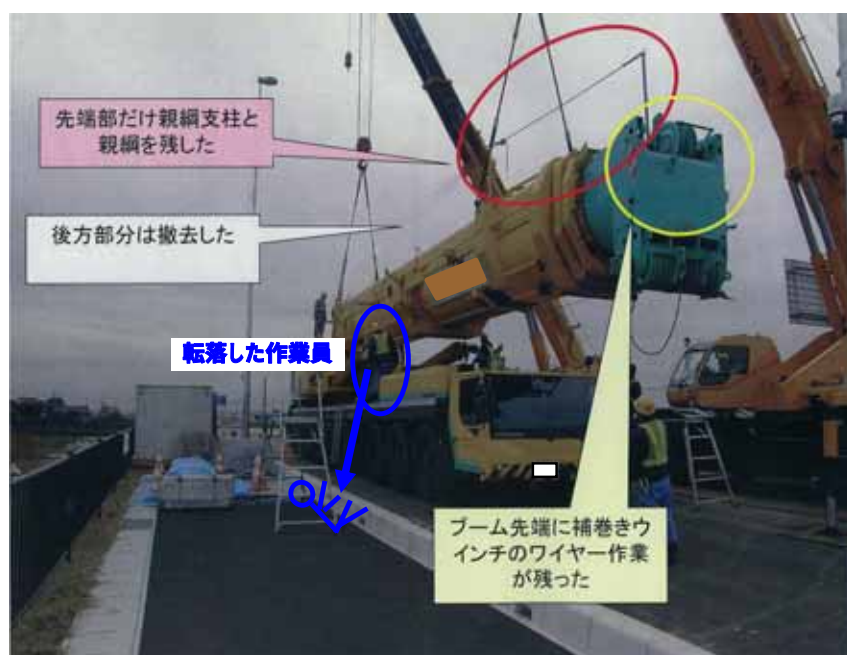
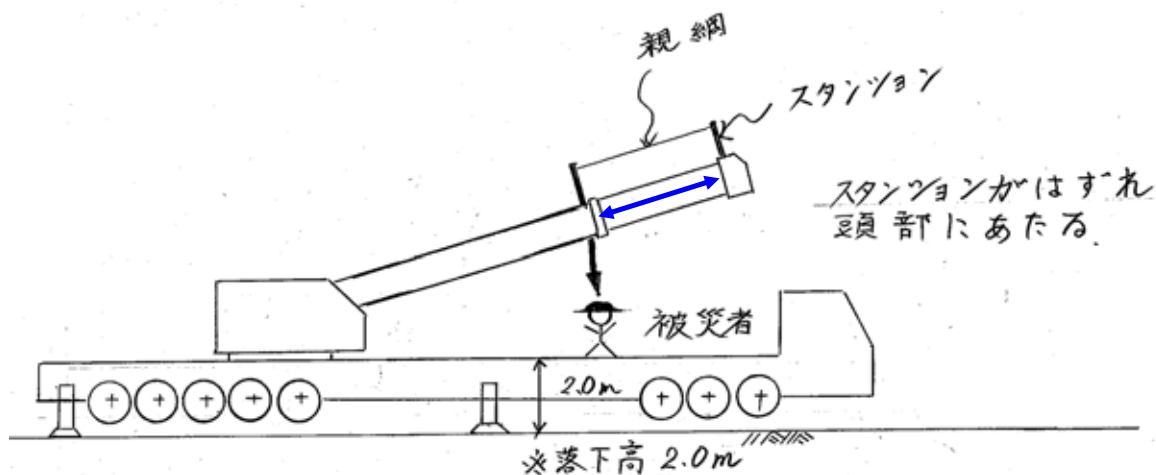
- ・墜落の危険性がある箇所にもかかわらず、必要な安全対策を講じていなかったこと。

【事故防止のポイント】

- ・墜落の危険性がある箇所については手すり等を設置する。 など

発生日時	平成 21 年 11 月 19 日 (木)				13 時 20 分	天候	雨
工事情報	道路系事務所 鋼橋上部工事						
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度			
	—	—	—	鼻骨骨折・肩脱臼			
事故概要	スタンを付けたままクレーンのブームを伸ばしてしまった結果、スタンションが外れ、その勢いで作業員に接触し墜落した。						

事故発生状況



・クレーンの組立作業のためブームにスタンを設置して作業していた。

・組立作業は終了したが、先端部分の**スタンを残したまま**、次の作業に移ってしまった。

・ブームを伸ばした反動でスタンが外れ、クレーン上に居た作業員に接触、転落した。

【事故発生原因】

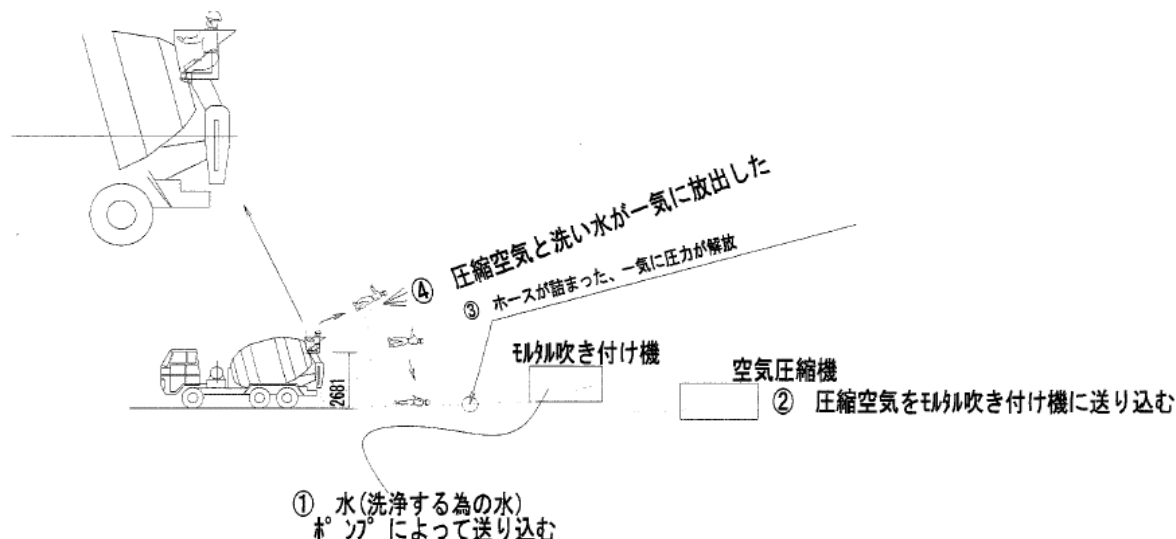
・スタンの残置について、作業指揮者、クレーンオペレータの伝達・確認が適切に行われていなかった。

【事故防止のポイント】

・機械稼働時の確認・伝達方法を再度徹底する。 など

発生日時	平成 21 年 12 月 14 日 (月) 17 時 00 分				天候	曇
工事情報	河川系事務所 一般土木工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	—	—	—	右大腿部骨折・左足首骨折		
事故概要	吹付ホースの洗浄水を生コン車に戻していた際、ホースが詰まっていたため、ホースが暴れ、作業員が生コン車から転落し負傷したもの。					

事故発生状況



・モルタル吹付終了後、ホースの洗浄作業を行っていた。
 ・ホース内部に圧力を掛けて、水で洗い流そうとした。
 ・被災者は、ミキサー車のホッパー口からホッパー内に吹付ホースを差し込み、フックで固定した。また、洗浄中のホースの動きを抑制するために、ホッパー口にて吹付ホースを押さえていた。(その際、安全帯等の落下防止対策は行っていなかった。)

【事故発生原因】

- ・高所作業にも拘わらず、安全帯の着用を怠った。
(労働基準監督署より、是正勧告書及び指導票あり)
- ・作業帯ではない「ホッパー口」にて作業を行ったこと。

【事故防止のポイント】

- ・高所作業時の安全帯の着用の周知徹底。
- ・生コン車のホッパー口など、作業帯ではない箇所では作業しない。 など

発生日時	平成 22 年 1 月 17 日 (日) 10 時 00 分				天候	晴
工事情報	道路系事務所 塗装工事					
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度		
	男	31	作業員	第3腰椎圧迫骨折		
事故概要	塗装を行うため、橋脚に吊足場を設置して作業をしていたところ、足場が1.5m程度下がり、橋脚と足場に隙間が生じたため、作業員が約8mの高さから中州に墜落、負傷したもの。					

事故発生状況



・吊り足場及び朝顔 (板張り防護) の足場内でブラスト作業をしていた作業員が、足場床材端部が1.5m下がり、橋脚と床材との間に生じた隙間から**約8m下の中州に墜落**したもの。



足場内部状況

【事故発生原因】

・足場の最大積載荷重について検討してなかったこと。
(労働基準監督署より、指導書あり)

【事故防止のポイント】

・足場上にて最大積載荷重を超えて資材等を積載することのない様、作業手順書又は作業前の安全点検活動の場で、作業員に周知・徹底する。 など